

# 本校の先生方の様子!

本校の先生方の様子を紹介します。

本校の先生方はすごいのです。どんな点がすごいか少しですが紹介したいと思います。私は、学校経営方針やグランドデザインの中に、「目指す教師像」を記載しており、一番はじめには「教育的愛情をもち、幼児児童生徒の可能性を信じ追求する教師」と書いています。まさに愛情があふれる先生方ばかりです。

## ◎ 子どもたちが自然に学べる環境を作るチームワークばっちり!!

小学部5、6年生は、7月2～3日の二日間、修学旅行に行ってきました。私も同行した様子は、note やホームページで紹介されているように札幌方面に行ってきたのですが、その際の先生方は、子どもたちが自主的に行動できるように上手に見守りながらも、ここぞというときには連携プレーで、子どもたちが学びたいことを学べる環境をササッと作ってくれるのでした。特に、千歳空港のバックヤード見学では、先生方の様子を見ていて私は素晴らしいなと思いました。

空港や飛行場の音環境は最悪です。爆音がするので、きこえる私たちも耳にワイヤレスのイヤホンを付けてもらい、説明する方は近くで話しているのにマイクを付けて話してくれました。そのような環境ですので、子どもたちが付けている補聴器や人工内耳は役に立つわけがありません。そこで、有効なのが手話です。ちょっとぐらい距離が離れていても何もきこえなくても、しっかり伝わります。先生方はバックヤード見学がはじまる前にさらっと打ち合わせて、説明の時には10分交替で手話通訳をしてくれました。説明してくれる方の隣に立ち、さりげなく通訳をしてくれるのでした。それも、飛行機のことですから専門用語がどんどん出てくる中、話を止めることなく、一生懸命に3人で交代して通訳してくれる様子に感動してしまいました。手話のスキルは、3人とも同じではありませんから、きっと、困ることもあったと思います。聾学校の先生なのだから当然だと思われるかもしれませんが、山形県や岩手県以北の大学で聾学校の教員を養成できる大学がない中、北海道の聾学校では、聾学校に配属されてからろう教育を学ぶことになり、聾学校だけが聾学校の先生を育てていると言っても過言ではないのです。手話も同様です。聾学校に入ってから学ぶ方が多いのが現状です。そう考えると、私は一定以上のスキルを身に付けて、子どもたちに学びの環境を提供できる先生方を見て誇らしいと思ってしまふのでした。このように、子どもたちのためなら一生懸命になれる先生方が、本校にはいるのです。



## ◎ 一人一授業公開で日々授業改善！！

本校では、新人の先生もベテランの先生も一年に一回は「一人一授業公開」として研究授業を行い、授業を見せ合って授業改善を行います。今日は、小学部2年生の先生が指導案を作って授業公開を行いました。毎日会っている子どもたちですが、改めて授業のはじめから参観すると子どもたちの成長の変化に気付くことが多くあります。それは、先生方が育てた力です。

先生方が何気ない配慮をしながら子どもたちの力を育み、引き出しているなと思いました。基本的なことではありますが、このようなことで大切なことが沢山あります。

### ① 授業の準備は、教科書、ノート、アイパッド、プリント

狭い机の上を効率的に活用する仕方は、指導したことが明確に現れるものです。しっかり指導されていることがよくわかる様子に安心感を感じました。

### ② 「交ばん」を「こーばん」と読ませ、フリガナは「こうばん」と書く。

当たり前で、さりげない指導ですが、無頓着に流してしまうと、いつか落とし穴になります。読み方、日本語の読ませ方（二音一渡り）、記述の仕方は大切です。

### ③ 「聞き方」が掲示され意識して学べる環境

日常の指導がよくわかる掲示があり、それを子どもに意識させ、子どもも意識していることがよくわかりました。「話している人に体を向ける。」「最後まで聞く。」「うなずきながら聞く。」大切なスキルです。

### ④ 先生が板書すると読む習慣が身に付いている学習姿勢

先生が黒板を向いて書いているときに、書いている内容をしっかり読む習慣が身に付いていました。高学年になれば黙読でいいのですが、低学年は音読させます。そのことで子ども自身が学びへの意識が高まり、誤った音読をしていれば、すかさず先生は指導することになります。



授業の様子

### ⑤ 教科書をデジタル機器で拡大表示をして共有

iPadで教科書を拡大表示して共有し、必要なことを書き込みながら確認するやり方は、今や当たり前のようにされますが、昔は拡大書きを手書きで準備するほど必要感がありました。聾学校では、目の前に同じものを共有すると効率的で効果的なのです。今は、聾学校でなくてもそのようにされています。誰にとってもあると助かるものなのです。

これらの他に、国語科の指導技術や聾学校ならではの指導が積み重ねられます。実際には見に来てください



「聞き方」

